

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業			事業コード	0421
担当課等	所属名	保健福祉部 高齢者支援室		担当係名	
	課長名	渡邊 光市	担当者名	保健福祉部 高齢者支援室 小野幸子	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード 4
	基本事業	高齢者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 3目 寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業(005-08)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 昭和50年度～)					
事務事業の概要	寝具類の衛生管理が困難なひとり暮らし高齢者の常用に係る寝具類を洗濯乾燥消毒をすることで、寝具類の衛生保持を図り、ひとり暮らし高齢者の福祉の増進に資する。					
根拠法令等	盛岡市寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業実施要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
寝たきり又はひとり暮らし高齢者の常用に係る寝具類の洗濯、消毒乾燥を行うことを目的に、昭和50年7月より事業が開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
利用者から、寝具類の洗濯乾燥消毒を専門の業者に依頼することができる点や、利用者負担が無料である点について好評を得ている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
平成17年度から国の補助がなくなり、市の単独事業となった。平成18年度に要項改正を行い、利用者を要介護3以上の方にするなど対象者を明確にした。しかし、年々増加する高齢率や核家族化の進行により、利用希望者の増加が見込まれる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 在宅の独居または高齢者世帯の人数	単位	25,125人
			B. 利用希望者数	単位	868人
			C. ひとり暮らしの高齢者数	単位	146人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 洗濯乾燥消毒した寝具の数	単位	323点
			B. 洗濯乾燥消毒にかかった費用	単位	267,854円
			C. のべ利用者数	単位	81人
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 利用希望者数/対象者数(在宅寝たきり者数) × 100 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	%
			B. 年間利用数/利用者数 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	点
			C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	相談などを受けている高齢者数(単位: 人) 介護予防事業参加者数(単位: 人) 介護保険サービス利用者数(単位: 人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	在宅の独居または高齢者世帯の人数	25,125 人	24,524	25,567	26,000	25,125	26,800		年度
対象 指標B	利用希望者数	868人	66	47	70	40	70		年度
対象 指標C	ねたきりの高齢者数	146人	130	124	125	146	125		年度
活動 指標A	洗濯乾燥消毒した寝具の数	323点	558	479	640	323	400		年度
活動 指標B	洗濯乾燥消毒にかかった費用	267,854 円	605,954	385,517	511,000	267,854	507,000		年度
活動 指標C	のべ利用者数	81人	135	112	160	81	120		年度
成果 指標A	利用希望者数／対象者数(在宅寝たきり者数)×100	%	50.8	37.9	56.0	27.4	56.0		年度
成果 指標B	年間利用数／利用者数	点	1.93	4.3	4.2	3.9	3.3		年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	617	385	511	269	507		*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	617	385	511	269	507	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	617	385	511	269	507		*****
	延べ業務時間数	時間	80	80	80	80	80		*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	320	320	320	320	320	0	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	937	705	831	589	827	0	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 当事業により衛生的な在宅生活を送るための支援をすることは、高齢者の健康維持に効果があり、意図に結びつく。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 在宅における寝具類の衛生保持が困難な高齢者が増加しており、特に独居や寝たきり高齢者の在宅生活を支援することは、市の役割である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 平成18年度に対象者の見直しを行い、平成19年度より新たな対象範囲で実施しており、現状のままでよい。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 対象の見直しを図ったことで、扶助費的要素として市民の理解が得られる。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 指定居宅介護事業所や地域包括支援センター等で、取りまとめてもらうなどしている。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 寝たきり高齢者等の日常生活の要である寝具が不衛生になると、感染症や皮膚病を引き起こす可能性があり、在宅生活の維持に支障が生じる。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 委託料に係る事業費であり、削減できない。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 対象者の確認等の事務であり、システム化も終了している。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 申請によって対応している。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 対象者選考の際には、身体的状況の他、経済的理由も考慮しているため受益負担はなじまない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること その1 高齢者人口の増加に伴い、対象者の増加も見込まれるが、この事業は現在一般会計で実施されており、対象が増えると費用の捻出が困難な事業である。本人の衛生保持や介護者負担の観点からも介護や福祉サービスの事業の補助事業対象となれるか、検討を要する。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 委託実施事業者が、ここ2年で相次いで撤退しており、この事業を維持していくために継続して実施できる事業所の開拓が必要である。また、事業者が撤退する現状を踏まえ、事業内容の見直しも行き、委託業者の負担を軽減していくことも必要である。</p>
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>高齢者の健康維持や日常生活の安定のためには必要な事業であり、介護事業者や関係機関と連携し取り組む必要がある。今後も継続して事業を実施するため、事業内容の精査を行なう必要がある。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>実施回数等の事業内容の見直しを行なった。事業継続に向けて、今後も必要に応じて事業内容の見直しを行なう。</p>														